

登録団体概要書

1 団体名・活動分野・自己PR（各項目の記載枠サイズは、適宜加工してください。）

(1)団体名	特定非営利活動法人浜松日本語・日本文化研究会（にほんご NPO）
(2)種類	特定非営利活動法人 任意団体 その他（ ）
(3)主な活動分野	福祉 環境 文化 スポーツ 子どもの健全育成 その他の社会貢献に係る分野（社会教育）
(4)自己PR・アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で日本語教室を開設してから11年半が経ちました。日本語教師の資格を持っている者、ボランティア養成講座を修了し経験を積んできた者が、外国人の皆さんの日本語学習を意欲的に支援しています。 ・外国につながる子どもたちへの支援には、日本語教師や学習塾で教えていた者、ボランティア養成講座の修了生等が、子どもたちのニーズに合わせて、日本語や教科を工夫しながら教えています。

2 活動について

(1)これまでの主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2001年～現在 地域での日本語教室の開設・運営 ・2001年～2007年 ブラジル人学校日本語学習支援 ・2005年～2010年 遠州浜小学校をはじめとする小中学校4校での放課後学習支援 ・2010年4月～現在 浜松市教育委員会の委託による「派遣型日本語教室（東教室）」での小中学校支援 ・2012年10月～2013年3月 浜松市の委託による「外国人子ども学習サポートボランティア養成講座」の主催 ・2005年～現在 「日本語スピーチコンテスト」を年1回開催 ・2002年～現在 「年末交流パーティー」を年1回開催
(2)団体の目的（定款等に記載された目的）	日本語を学ぶ外国人一人ひとりのニーズに応えることにより、また日本文化・外国文化の研究を通して、日本人と外国人との相互理解による多文化共生社会の実現に寄与することを目的とする。
(3)団体の活動・業務（事業活動の概要）	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民のための日本語学習支援（レベルや目的別に、多文化共生センター、浜松市内の公民館などで日本語教室を開講しています） ・外国人子ども学習支援（浜松市内の小中学校において初期日本語指導や教科学習支援をしています） ・日本語教師の育成・研修（教師のスキルアップのための講座やボランティアの養成講座を開講しています） ・日本文化・外国文化の研究・発信

<p>(4) 現在特に力を入れている事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民への日本語学習支援 ・外国人及び外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援 ・外国人子ども学習支援ボランティア養成
<p>(5) 4の事業に関する地域の課題・目的(必要性)</p>	<p>(地域の課題)</p> <p>浜松市には人口の約3%、約25,000人の外国人住民が暮らしています。国籍も日本語学習のニーズも年々多様化してきていますが、まだまだ十分な支援がなされているとは言えない状況です。彼らの多くは、日本語力が十分でないために、日本人とのコミュニケーションがうまくできなかったり、いい仕事に就くことができなかつたりします。子どもたちの多くは、在籍学級の授業についていくことができずに、日本語力も不十分なまま中学校を卒業していきます。今のままでは、外国人住民は地域社会の一員として日本人と対等に交流することも、自らの能力を伸ばす十分な機会もありません。</p> <p>(目的・必要性)</p> <p>外国人住民と日本人住民が互いに相手の文化を尊重し、対等に交流できるようになることで、文化的にもさらに豊かな社会が構築されます。また、複数の文化や言語を理解する人材を育成することは、地域社会の経済にも多大な恩恵をもたらします。</p> <p>特に、外国につながる子どもたちへの支援は、地域社会の将来への投資です。学校をドロップアウトしてしまうことなく自らの可能性に向かってチャレンジしていけるよう、子どもたちを支え励ましていくことが必要です。</p>
<p>(6) 4の事業の目標と成果の確認方法</p>	<p>(目標)</p> <p>日本語教育や教科指導に関する専門知識を持ったスタッフにより、できるだけ多くの外国人住民や子どもたちへの日本語学習支援、教科学習支援を行い、日本語力・学力の伸長に寄与することを目標とする。</p> <p>(成果の確認方法)</p> <p>学習に参加している外国人住民や子ども、支援先の小中学校等に聞き取り調査を行う。</p>
<p>(7) 4の事業に関する今後の方向性・ビジョン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を実施する中で得た知見や経験を支援者間で共有し、支援者のスキルアップを図る。 ・学習者の多様なニーズに対応できるよう、必要に応じてニーズに合ったクラスを設置していく。 ・支援先の小中学校を広げるとともに、小中学校との連携を密にし、一人ひとりの子どもたちの発達段階やニーズに合った教材を使って、日本語学習支援、教科学習支援を行う。

3 他の組織等からの支援の実績と内容

(1)助成金・物品等、他の組織から受けた支援の実績	<p>直近2か年度分の実績を記載。</p> <p>平成22年度 浜松市国際交流協会から「国際交流・多文化共生推進事業補助金」30万円</p> <p>平成23年度 浜松市国際交流協会から「国際交流・多文化共生推進事業補助金」60万円</p>
(2)他のNPO・市民活動団体との協働の実績	<p>協働した団体名と実施内容を簡潔に記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市国際交流協会と毎年8月「日本語スピーチコンテスト」を共催。 ・ボランティア支援ネットワークパレットの後援をいただき、毎年12月に「国際交流パーティー」を企画運営。 ・浜松NPOネットワークセンターの「静岡県西部地域 外国籍の子どもと親のための教育支援情報倉庫」サイトに支援情報を掲載中。 ・静岡文化芸術大学の平成24年度「多文化子ども教育フォーラム」において、準備会メンバーとして企画運営に参加。
(3)企業等との協働の実績	<p>協働した団体名と実施内容を簡潔に記載。</p> <p>なし。</p>
(4)行政との協働の実績	<p>協働した団体名と実施内容を簡潔に記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度より、浜松市教育委員会の委託により「派遣型日本語教室（東教室）」を実施中。 ・平成24年10月～平成25年3月浜松市の委託により「浜松地域人づくり大学市民活動実践講座（外国人子ども学習サポートボランティア養成講座）」を開催中。 ・静岡県の委託により「平成24年度外国人県民のための自立支援日本語教室開催事業」を実施中。 ・文化庁の委託により「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業」を平成24年6月より平成25年3月まで実施。

4 情報公開について

(1)活動内容の報告方法	<p>団体のホームページを利用 ブログを利用</p> <p>ツイッター・フェイスブックを利用 活動報告会を実施</p> <p>現場見学会を実施 その他（ ）</p>
(2)寄附を受けた場合、寄附者への活動報告方法	<p>実施活動の報告書を送付 会報等を送付</p> <p>メールマガジンを送付 活動報告会へ招待</p> <p>活動現場の見学会へ招待</p> <p>その他（ ）</p>